

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名

児童発達支援センターぷれも

公表日

令和7年 3月31日

利用児童数

回収数 51

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	48	3	0	0		<ul style="list-style-type: none"> ・センターでは、グループ活動の内容に合わせて、支援室の広さやレイアウトを工夫しています。また、個別の支援の際、子どもの特性において、環境の変化が影響してしまう場合は、支援室を変更せずに使っています。 ・水遊びでは、センターの庭にプールを設置して支援の幅を広げています。
	② 職員の配置数や専門性は適正であるか	44	4	0	3		<ul style="list-style-type: none"> ・指導員（保育士）の入れ替えがあり、新たな担当者がグループ活動や個別の支援に同席する期間を設け、保護者を交えた引継ぎを行っています。 ・専門性向上のための研修を定期的を実施し、意見交換等を通して、支援・療育を行うためのスキルを身につけています。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	41	5	0	5		<ul style="list-style-type: none"> ・本館玄関の開き扉に、ロングサイズのドア指挟み防止ストッパーを設置し、子どもの座り位置から立ち上がり位置まで広範囲にカバーしています。また、寒さ対策にも便利です。 ・子どもの安全に配慮して必要な設備の改修をしています。

	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	49	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動や個別の支援後に、使用したおもちゃや遊具、子どもの活動場所の消毒と換気を必ず行なっています。また、職員が退勤する際には、センター、本館内（支援室、トイレ、玄関等）における日々の清掃と消毒等を適切に行っています。 ・今後も子どもの活動場所の環境整備・衛生管理の工夫に努めます。
適切な支	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	45	5	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援計画は、Plan（計画）、Do（実行）、See（評価・見直し）の3つの過程を回すことで、子どもの実態に応じた計画となるように作成しています。 ・評価・見直しの際には、モニタリングを行う事で関連機関の助言や保護者の要望を反映しています。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	42	4	0	5	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援計画は、入所が確定した時点で、子どもや保護者の希望や課題を踏まえて、適切なサービスが総合的に提供できるように作成しています。 ・児童支援利用計画は半年ごとに見直し、子どもや家族の希望する生活の実現に向けて、障害福祉サービスが有効に活用できるように作成しています。

援 の 提 供	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	46	4	0	1	・児童発達支援計画を受けて、個別支援計画を5領域（「健康・生活」、「運動・感覚」、「認知・行動」、「言語・コミュニケーション」、「人間関係・社会性」）から作成し、具体的な支援内容を明記しています。支援者は、支援計画に沿って支援にあたり、随時、保護者に支援状況を報告しています。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	41	7	0	3	・グループ活動では、担当スタッフが事前に子どもたちの構成を確認して、活動の目当てを話し合い、支援の内容（遊具や教材作成）を決めています。 ・終了後も保護者や子ども達との会話から、子どもの反応や保護者のニーズに応じてプログラムの見直しを行なっています。
関 係 機 関 と の 連 携	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	29	8	3	11	・子ども達は、保育所や幼稚園で障害のない子ども達と普段交流しています。更に、コロナ感染症が5類に移行となり、子どもたちの交流が活発になってきました。また、子ども会、お祭り等を通して、地域の中で触れ合う場も多様化していると感じます。
	⑩	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	38	3	1	9	・子育てサポートや家族支援が必要と思われるケースは、個別支援計画に明記し、計画的に家族支援が行われるようにしています。 ・令和6年度も、継続してペアレントトレーニングを行っています。

保	⑪	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	48	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に対する利用についての説明は、サービス管理者や事務職員から、利用手続きや、利用者負担額等について、分かりやす丁寧に説明しています。 ・納得して頂いた上で契約をおこなっています。
	⑫	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	46	2	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧なモニタリングを行い、具体的な支援方法が明記した支援計画書を丁寧に保護者に説明します。常に、保護者が納得するまで調整します。 ・子どもの特性に合わせた支援内容になるよう工夫しています。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	49	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・原則、保護者の同席をお願いします。支援後に、保護者と子育てについて相談を受ける時間を用意し、助言等をしています。また、保護者からの相談があった場合に、改めて面談の機会を設けて保護者の悩みなどを傾聴する機会を設けています。ご意見を頂いた場合は、今後の支援にいかしていきます。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	47	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・6ヶ月ごとに、個別の支援計画を見直す機会として、モニタリングを行なっています。その際に、育児についての助言等も行います。 また、保護者面談は、必要に応じて随時実施しています。子どもの様子や課題に関して保護者面談をすることもあります。

護者への説明責任等	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	33	5	0	13	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者主体の「ママ・パパ会」を随時開催し、いすみふれも主体に開催している保護者会を年2回実施します。運営方針やふれもの理念等をご理解いただくとともに、悩み相談や情報交換を行います。 ・保護者同士の連携は、イベントなどを通しても行われています。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	47	2	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・相談を受けた保護者には後日支援時に結果報告をし、保護者や子どもに気持ち（困り感）に寄り添うよう心がけています。 ・電話での要望・意見があった場合緊急性があれば、即時に対応します。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	50	0	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の際には、保護者の同席をお願いし、支援後には保護者から感想等を聞き取り、必要であれば支援に繋いでいます。 ・子どもの成長に合わせて、保護者の子育てに関する悩みを聞き取り助言等しています。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	44	3	0	4	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふれもだより」（広報紙）を毎月保護者あてに発行しています。活動の概要や行事予定、支援の啓発を載せています。 ・業務に関する自己評価については、ホームページへの掲載が必須となっています。今後も、継続して取り組みます。

	⑱	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	47	0	0	4	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内で個人情報保護・漏洩防止についての研修を随時行っています。法令等の確認にとどまることなく、事例検討的に研修をしています。そして、職員間で厳重に注意喚起を行なっています。 ・PCのHD及びUSB（記憶媒体）の管理に配慮しています。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	39	4	0	8	<ul style="list-style-type: none"> ・業務継続計画（自然災害・感染症）・各種緊急時対応マニュアルを保護者待合室に置き、いつでも閲覧できます。また、広報紙への掲載や保護者会等で、緊急時の対応について情報提供しています。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	34	1	0	16	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の入れ替わりが多かったこともあり、計画に基づいて、緊急事態を想定した避難訓練を毎月実施しています。訓練は事前に通告することで、事業所内の職員が研修することを優先しています。 ・「ふれもだより」等で具体的内容をお知らせしています。
満	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	44	4	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の中には、保護者に促されながら通所する子どもがみられます。そこで、次の点に留意して支援を行います。 1.利用者との信頼関係を構築します。 2.利用者・保護者が納得できる取組をします。 3.専門分野の職員との情報交換で、ニーズに合った個別対応を図ります。

